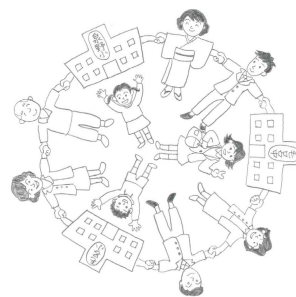


未来を拓く人づくり(小中一貫教育)

毛呂山中学校区学校運営協議会



- 第1回 5月17日(金) 於:役場
委嘱状交付
- 第2回 6月25日(火) 於:毛呂山中学校
議事 ①学校運営基本方針の説明と承認
②学校が地域に望むこと
③地域が学校に望むこと
- 第3回 10月30日(水) 於:毛呂山小学校
議事 未来を拓く人づくり(小中一貫教育)プロジェクトの活動報告



児童と生徒、児童生徒と地域の交流



『小中学校音楽交流』



『小中学校合同一斉下校』



『埼玉医科大学大学生が保健指導』



『中学校外国語講師の小学校英語教室』



『中学生と寿大学参加者との交流』

毛呂山中学校区学校運営協議会(委員の声)

校長 中学生が小学生に陸上の指導をした。小学生は意欲と技術が向上し中学生は教えることで自分達が多くのことを学んだ。生徒は寿大学の参加者と一緒に郷土カルタをして楽しんだ。

PTA会長 子供たちは地域の施設を訪れ、生き生きと素直にかかわっている。このプロジェクトを更に進めてほしい。学校応援団の人数が以前に比べ減少してきたことが課題だ。

区長等 子供たちは落ち着いて学習している。また、よく挨拶ができようになってきた。コミュニティ・スクールはどの学校も成果が出ている。3校の情報交換で他校のよい活動を取り入れ更に発展できる。

大学教授 医科大学大学生130人は児童生徒と2日間小中学校で交流活動やかぜの予防指導などを行っている。子供たちも学生も喜んでいる。学生は子供を愛し毛呂山町を愛する医師になると思う。

川角中学校区学校運営協議会



- 第1回 5月17日(金) 於：役場
委嘱状交付
- 第2回 7月8日(月) 於：川角中学校
議事 ①学校運営基本方針の説明と承認
②学校が地域に望むこと
③地域が学校に望むこと
- 第3回 10月31日(木) 於：川角小学校
議事 未来を拓く人づくり(小中一貫教育)プロジェクトの活動報告



児童と生徒、児童生徒と地域の交流



『中学生が地域に出て福祉ボランティア』



『埼玉医科大学大学生が保健指導』



『公民館サークルとリースづくり交流』



『保護者の協力によるミシン教室』



『地域の人と小学校で昔遊び交流』



『文化部発表会』

川角中学校区学校運営協議会(委員の声)



校長

災害時を想定した小中合同一斉下校はよくできた。中学校の国語教師が小学校で授業をした時は、児童が意欲的に学んでくれた。児童と公民館のサークル団体の交流ではお互いにとって得るものがあった。学区にある福祉施設にボランティアとして訪れた生徒は意欲的に活動し、瞳を輝かせていた。



PTA会長

教職員の人数が以前より減り学校の登下校指導や緑化活動が厳しくなっているようだ。地域住民が参加できるとよいし、資源回収なども子供・保護者・地域と一緒にできるようになるとよい。



区長・民生委員

生徒は地域に出て社会貢献活動を行い豊かな心を育てている。中学校の教師が小学校で児童に教える出前授業や生徒が児童に教える活動はとてもよい。この活動を続けてほしい。



大学教授

子供たちは親御さんの姿を見て学ぶため、読書や新聞などを読む姿を意識して子供に見せてほしい。

コミュニティ・スクールでは、今までの教育活動を整理・発展させ、学校と地域が一緒になって子供たちに生きる力を育てていきます。少子化の中で学校に多くを任せるのではなく地域ぐるみで子供を育てていくコミュニティ・スクールでは、地域の方々に一層子供の育成にかかわっていただきたいと考えています。

これからも皆様のご理解とご協力をいただくとともに子供たちに知・徳・体の育成を図りながら生きる力を身につける教育を進めて参ります。



教育委員会